

TTC 定例山行実施記録表

2014.11.25 川越 茂人

山行名	上州妙義山お中道				[998m（山行最高標高） 群馬県]
実施日	2014 年 11 月 22 日（土）日帰り				交通アクセス：マイクロバス
天候／参加人員	天候：晴 レベル：★★ 参加者：18 名（男 11 名／女 7 名）				
パーティスタッフ	CL/計画： SL： 会計： 救護： 写真： ドライバー： スタッフ名削除				
	A 班：(班長)、 B 班：(班長)、 C 班：(班長)、 参加者氏名削除				
費用 ¥4,300-	[内訳] マイクロバスレンタル料 ¥29,268-、 高速代（圏央厚木ー松井田妙義@5,350×2） ¥10,700-、燃料代[125×(380+50)/5] ¥10,750-、ドライバー謝礼 ¥18,000 交通費合計 ¥68,718- もみじの湯（団体割引） ¥8,200-、カンパ金 ¥482- 支出合計 ¥77,400-、 一人当たり ¥4,300-				
所要時間		歩行時間	休憩時間	行動時間	歩行時間比（実行/計画）=0.91
	ガイドブック	4:00	—	—	歩行時間比（実行/ガイドブック）=1.02
	計画	4:30	1:20	5:50	行動時間比（実行/計画）=0.91
	実行	4:05	1:15	5:20	
実行コースタイム記録					
圏央道／関越道／上信越道 トイレ休憩 本厚木====圏央厚木 IC====高坂 SA====松井田妙義 IC====道の駅みょうぎ==== 6:15 7:30~50 8:45~55 0:50 1:00 0:47 妙義自然休養林P——金鶏橋——一本杉——石門入口——石門広場——大砲岩分岐——ホッキリ入口（黒滝） 9:00~9:10 10:00~05 11:05~20 昼食 0:43 0:45 入浴 ——東屋——本読みの僧——第二見晴——妙義神社——道の駅みょうぎ====妙義ふれあいプラザ 12:07~47 13:30~45 14:30~50 14:55~16:10 上信越道 関越道／圏央道 ====松井田妙義 IC====高坂 SA====本厚木 17:15~35 19:00					
コースの概要、特記事項、反省事項等					
連休の初日の為、圏央道から中央道への JCT で渋滞していたが青梅方向への直進は問題無かった。関越道の高坂 SA 付近で渋滞通過に 20 分掛かったが、その後はスムーズに走った。道の駅みょうぎでトイレ休憩後、妙義自然休養林の駐車場に到着したが、入口が狭くマイクロバスは入れなかった。下山後の待合せは道の駅にしたが、登山者は駐車禁止の為近くの登山者専用駐車場で待機をお願いした。 MT さんの音頭で体操を行ない、出発。計画より 50 分早かった。金鶏橋から登山道に入った。多少急登ではあるが、一面の紅葉を楽しみながらゆっくりと登った。もみじが至る所にあり鮮やかな色彩で我々を迎えてくれた。一本杉で休憩し、一般道路を 10 分歩くと石門入口に到着。ストックをザックに入れ第 1 石門、カニの横ばい、タテバリ、第 2 石門へと進む、足場やクサリはしっかりしている。狭い岩の間をお腹を凹ましながら通過する人もいた。混雑時は一方通行で上り専用となった。大きな石門は自然の力で偶然にできたのだろうが、崩れることなくバランスよく形作られ、不思議に思えた。ガイドブックに載っていない第 3 石門が案内板に書かれていたが、ピストンとなる為、パスした。広場に到着し四阿の日陰で休憩。大きな第 4 石門の向こう側には大砲岩が見えた。 ここまでは紅葉や変化のある岩場を楽しみながらゆっくりペースで進んできたが、後半は見どころも少ないので歩くピッチをやや早めた。大砲岩分岐を過ぎてからは急な下りの鉄階段が 170 段続いた。その後も急な下りが続き、今回の逆回りのコースをとると急登で結構苦労しそうだと感じた。東屋に到着し昼食を摂った。昼時でもあり、結構混んでいた。昼食後、第 2 見晴で休憩したが展望場所は狭い為、次に来た団体に場所を譲り下の広場で休憩した。下山時、妙義神社の境内を通らせてもらった。山の中腹に立派な石垣が積み上げられ、見事な建造物がゆったりとして立っていた。国の重要文化財で由緒ある神社であった。 下山後は、妙義ふれあいプラザのもみじの湯で汗を流し生ビールで乾杯した。帰路は連休の為渋滞を覚悟していたが、高坂 SA 付近の混雑だけで順調に本厚木へ帰着できた。 今回は石門など変化に富んだコースを晴れた紅葉の時期に山行が出来て、実に恵まれた 1 日でした。					